

# ～益田地区地域自治組織設立準備会～

ひと・まち・歴史の鼓動を感じるまち

シリーズ

地 域 づ く り

## 益田地区

人 口：5,863 人  
高齢化率：33.0%（平成 30 年 1 月末現在）

### ★地区の状況

益田川と国道 191 号が横切り、益田川中流域の平野部に位置する益田地区は、中世（鎌倉時代から戦国時代まで）益田氏の城下町として栄えたところで、益田本郷といわれています。



七尾城跡から見た益田地区

萬福寺、医光寺の「雪舟庭園」をはじめ、「七尾城」「三宅御土居」など中世の歴史・文化遺産が数多く残されています。

また、警察署、裁判所、検察庁、県合同庁舎のほか高等学校が 3 つある文教厚生地区でもあります。かつては益田市の中核としての役割を果たしてきた当地区ですが、近年は吉田地区の新興商店街、高津地区の大型ショッピングセンター等の進出に押され、にぎわいは少しずつなくなってきました。また、少子高齢化の流れにあって、地区内でも空き店舗や空き家などが目立つようになってきました。



### ★準備会の取組



幅広い世代から多くの意見を求めるため、平成 29 年度に新たに 9 名が準備会の委員として加わり、計 32 名の委員で「安心安全部会」、「ふれあい部会」、「歴史部会」の 3 部会を構成しました。各部会では、まちづくりプランに基づく活動計画について話し合いました。

それぞれ 2 回ずつの会合をもち、魅力あるまちづくりを進めるためにどのような活動をしていけば良いのが話し合った結果、薄れつつある地域のつながりをどう構築していくのか、次の世代へどのように継承していくかということが共通の課題として出てきました。

出された意見を集約して準備会でさらに検討を重ね、最終的に役員会で各部会の活動計画をまとめていきました。



### ★今後の取組

これからの取組の一番の課題は、地区住民の自治組織に対する意識と理解をどのように深めていくかということです。そのために、出来上がった活動計画をもとに地区説明会などを行うことで、自治組織が目指すまちづくりの姿を具体的にイメージでき、理解してもらえるものと期待しています。

七尾まつりをはじめとして、地区住民がつながる行事も多く、どこに行くにも半径 2km 以内という地理的にもコンパクトなこの地区だからこそできる自治組織を目指して、これからも努力していきたいと思えます。

シリーズ

# 地域づくり

## ～東仙道地域自治組織

## 設立準備委員会～

### 東仙道地区

人口：803人

高齢化率：43.2%（平成30年1月末現在）



#### ★地区の状況

当地区は益田駅から車で15分と近く、誘致企業によって多くの雇用が創出されています。地区内の「ひだまりパークみと」にはグラウンド・ゴルフ場や屋内運動場のさくらドーム、サッカー場があり、市内外から多くの利用者が訪れています。



イルミネーション

農産物では、特産品のいちごやゆずだけでなく、米やベビーリーフなど、たくさんの農産物を生産しています。



また、毎年お盆の時期に四つ山に現れるお城のイルミネーションや三谷川のホタル、冬期には東仙道小学校のヒマラヤシーダ（ヒマラヤスギ）がクリスマスツリーにイルミネーションされ、それぞれ東仙道地区の風物詩となっています。

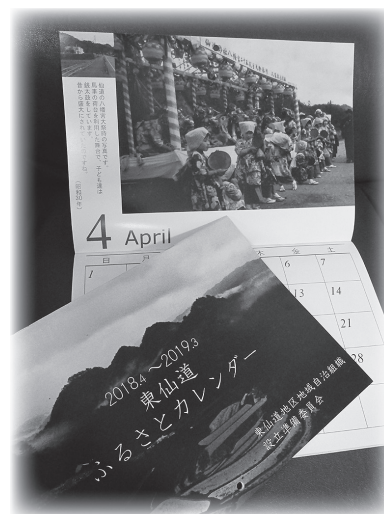
#### ★準備委員会の取組

平成27年度に住民アンケートを実施し、平成28年度は、その結果をもとに協議を重ね、「まずは、できるもので、できる事から始めよう」という思いで、草刈り代行を行う“東仙道お助け隊”を発足しました。お助け隊はこれからもまだまだ増えるであろう、様々な困りごとを少しでも解消すべく活動中です。

また、「地区の魅力を再確認し、ふるさと東仙道を考えてもらうきっかけになれば」と始めた“ふるさとカレンダー”も平成29年度で2回目となりました。今回は“昔の東仙道の景色”をテーマに作成し、様々な世代間で会話が生まれる手助けになるのではないかと考えています。



東仙道お助け隊



ふるさとカレンダー

#### ★地域自治組織設立に向けて

当地区でも、ついに4月22日に設立総会を開催する予定となりました。

「助け合える東仙道にする!」を中心とし、「歴史や資源を守り、活かす東仙道にする!」、「元気にいきいき暮らせる東仙道にする!」の3つの柱をもとに既存・新規の事業を行なっていこうと思っています。